

活動報告書

ユース W 杯完全優勝

2021/09/24

杉匠真

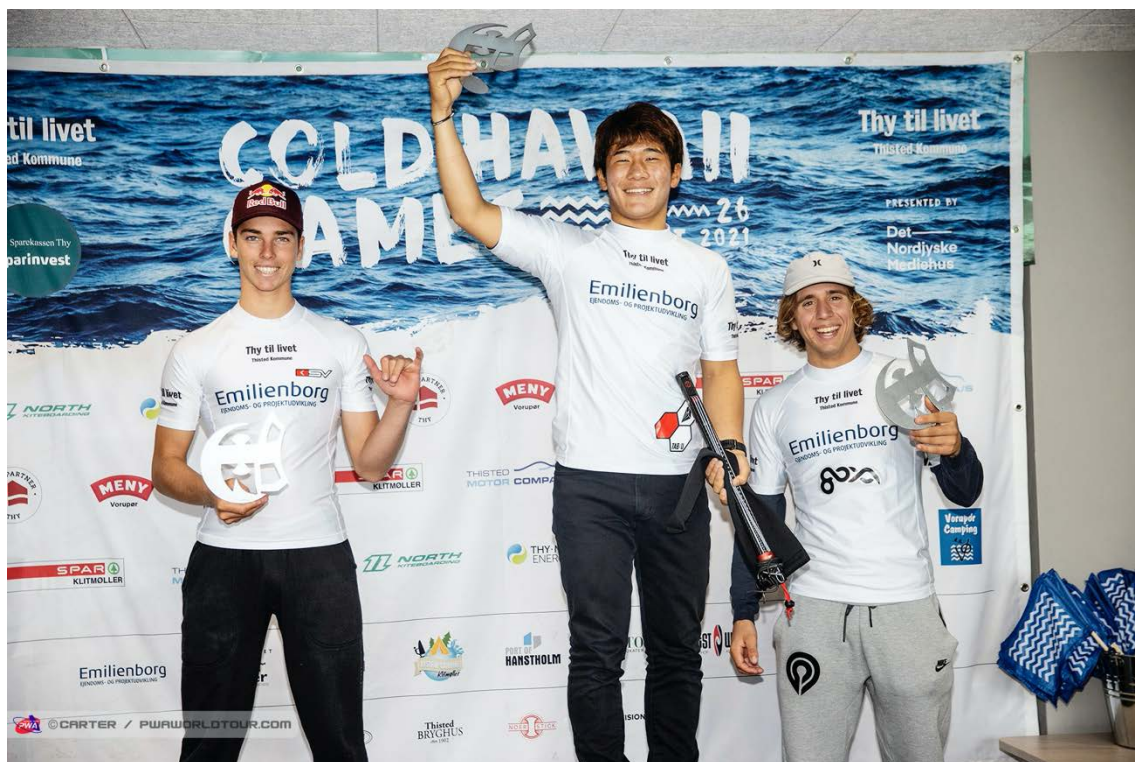
こんにちは日頃より大変お世話になっています。プロウインドサーファーの杉匠真です。9/8日～9/12日までデンマークの Klitmøller にユース W 杯参戦のため海外遠征に行っていました。



今年も昨年同様に国際大会が少なく PWA(Professional Windsurfing Association)のプロ戦は全てキャンセルとなってしまいとても悔しい思いでいっぱいでした。そんな中ユースワールドカップのみがデンマークで開催されると知り年齢的にも今年が最後の出場できる機会だったので U20 のクラスに参戦して来ました。

世界各国からユースの選手が集まり、プロクラスでも上位に入るレベルの選手も来ており U20 は大いに盛り上がりました。スペインのグラン・カナリア島から E-959, *Marino Gil Gherardi*, 世界チャンピオンに 42 回なった *Bjon Dunkerbek* の息子の E-11 の *Liam Dunkerbek* など U20 はとてもハイレベルなクラスとなりました。

結果としては Single illumination(1 回戦目)、Double illumination(敗者復活戦)ともに優勝し総合優勝を果たすことができました。準優勝は *Liam Dunkerbek*、3 位は *Marino Gil Gherardi* となりました。リラックスして試合に臨むことができ採点表を見ても他 2 人とは点差が 10 点程離れていてこれからの選手として大きな自信に繋がりました。



Single Illumination

大会初日から試合はスタートしました。コンディションはポートのオンショア 10m/s ほど波は小さく腰ほどでした。普段からプロ戦を意識してグラン・カナリア等など強風でのトレーニングを行なっているため風が少し物足りないと感じるコンディションでした。それでも翌日以降風の予報が不安定だったので「今日シングルイルミネーションを終わらす」と運営は言い切り試合はスタートしていきました。スムーズに進んでいく中で少しずつ風も上がり U20 のクラスをやる時には最大セット(4.7,77L)でしたがジャンプまではできるコンディションになり順調に勝ち上がり決勝までコマを進めました。決勝のメンバーはもちろん *Liam Dunkerbek*、*Marino Gil Gherardi* の 3 人でのヒートでした。ポートのオンショアは誰もが得意とする風向きでした。

13分のヒート時間と2ジャンプ2ウェイブカウントとなり決勝は始まりました。

ヒート序盤は確実にジャンプ、波乗りともにメイクをしていきました。

確実に点数を稼ぎ、試合中盤に少し風が上がって来たのでプロ戦でも高難易度のジャンプ技「ダブルフォワード(前方2回転)」を仕掛けました。4.7の77Lでは今まで挑戦したことすらなく道具が大きくなるにつれメイクが難しくなっていく技。スペインで数多く練習してきた自信と感覚に身を任せ斜め上に回転しながら飛び出しました。

完璧にメイクまでとはいきませんでしたでしたがリカバリーメイク判定となり会場は盛り上がり、海の上でも歓声が聞こえました。その後の試合展開はダブルフォワードをメイクした自信とリラックスしている体が混じり安定して波乗りジャンプを決めていくことができSingle Illumination では暫定1位になることができました。



2位は *Marino Gil Gherardi*,

3位は *Liam Dunkerbek* の順位となりました。



その日のU20のヒートは終了し、他のクラスのヒートが夕暮れまで進行していきました。暫定一位になれたことによる安心と嬉しさに溢れかえっていました。



翌日は風がスターボードタックの風になり波も残っていませんでした。

ですがU20の試合は行われず、GirlsやU13,15クラスのヒート進行となりました。

ヒート時間の合間を見てセッティングし海に出たり選手の控室で休んだりとリラックスしてその日は過ごしました。

Double Illumination

15日から Double illumination(敗者復活戦)がスタートしました。コンディションはスタボーオフショア。波は腰胸くらいでしたがオフショアがきつく波に乗るのが困難なコンディションでした。多くの選手がスタボーオフショアという風に苦戦している中、自分はハワイのマウイ島での遠征経験や日本の御前崎での練習していたため楽しいと感じることができていました。ヒートは少しずつスタートし自分はシングルイルミネーションで勝ったためダブルイルミネーションの決勝で勝ち進んできた選手との対戦でした。

その日の最後の最後のヒートで決勝の相手は *Liam Dunkerbek*。暫定3位でしたが2位の *Marino Gil Gherardi* に勝利し決勝まで勝ち進んできました。



決勝は夕暮れ過ぎとなりライブ配信では見えなくなるくらいまで暗くなっていました。実際はそこまでではありませんがかなり暗かったです。

シングルイルミネーション同様に13分ヒートの2ウェイブと波乗りだけのカウントとなりました。

多少の緊張はしていましたが「勝てる」という自信が確実にあったので点数が伸びるようにロングライドしたりターンを数多くしたりと冷静に試合運びを行うことができました。

ダブルイルミネーションの結果は優勝。

その後の非公式の出場選手全員参加のスーパーセッションでも勝つことができ完全勝利としてユース W 杯は終了しました。



試合では緊張などによって動きにキレがなくなったりみだれが目立ってしまったりと風と波、自然を相手にしながら更に対戦相手のことも考えているためとても神経が繊細になります。そんな中今回この大会を通して試合を楽しみながら戦う。そしてリラックスが何よりも大切だと実感しました。日頃から色々な風向きやコンディションで乗る大切さ、試合での自信につながるものを作るための練習頻度、どんな時も冷静でいられる精神、どれか一つでもかけてしまったらダメなんだと感じました。



2020年は国内で練習をし、2021年は2ヶ月半スペインのカナリア諸島に遠征に行き新型コロナウイルスに翻弄されながらもとても良い練習環境でした。選手には風向きに対する苦手意識のある選手が多くいます。そんな中、自分は全てのコンディションにおいて苦手意識はなくむしろ全部好きです。選手で最も大切なもの「練習環境」をスポンサーが作ってくださったり、日本の様々な風の環境があるからこそ世界大会で優勝したり、違う種目フリースタイルでも活躍できています。

いつも応援してくださり本当にありがとうございます。

これからも世界一を目指して頑張っていきます。また応援宜しくお願いします。

J7 杉匠真

